

諏訪地域6市町村 任意合併協議会が 設置されます！



岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町および原村は、平成14年7月に諏訪地域市町村合併問題検討委員会を設置して、4回の協議を行った結果、諏訪地域6市町村任意合併協議会を設置することになりました。

各種の市政懇談会で、市民のみなさんから多くのご意見、ご質問をいただきました。その中で、新しい市になったときの『まちづくり』や「市民サービスの水準」がどのようなものか分からないため、自分の問題として受け止められないとの意見がありました。

今回設置される任意合併協議会は、市民のみなさんに合併とはなにか、合併により自分たちの街がどのような街になるのかをご理解いただくため、新市の将来像を明確にするため協議する会です。

いま、なぜ
合併なの？



一 交通手段の発達、経済活動の広域化により、通勤、通学、買い物等で私たちは6市町村の垣根を越えて生活しています。また、諏訪人としての帰属意識（ふるさと意識）を共有しています。

二 今回の合併と比較される昭和の大合併のころは、救急、ごみ処理、老人福祉、介護保険等の仕事はありませんでした。これらの行政サービスは、市民ニーズの高度化によりさらに多様化することになり、広域的な対応が求められています。また、市役所が税金を投入して行政サービスを売る会社と考えたとき、効率的なサービスの提供をするためには、現在の広域連合程度の市の大きさが必要ではないでしょうか。

三 国の財政状況はすでに危機的な状況にあります。地方交付税については国が借金をして地方

へ配分していることから、近い将来の地方交付税の減額は確かなものとなっていますし、市町村の歳入の中心である市税の増加も見込めないことから、合併による効率的な財政運営が求められています。また、地方分権により市町村には様々な権限が国や県から委譲されますが、その体制作りが必要です

四 市民ニーズの高度化、広域化により、行政も肥大化してしまいました。近年、民間企業は合併、リストラ、海外シフトなど健全化のための努力により体力をつけようとしています。市町村も行政改革や合併によるスケールメリットを生かした行政運営が必要となっています。



合併 Q & A



市民サービスの水準は、各市町村が特徴を出しながら行政を進めているため、若干の違いがあります。サービスは下げず、負担は重くならないことを調整方針として、新市の行政サービス（事務事業）の水準を協議することになっています。また、新市の将来像となる新市建設計画案を策定します。この計画案により新市の姿が見えてきます。

任意合併協議会では
どのようなことが
論議されるのですか？



合併により
議員や職員の数
はどうなりますか？



6市町村の人口は約21万人で、松本市の人口と同じくらいです。議員の定数は38人となりますが、合併特例法により合併後すぐに減員とはならず、一定期間の緩和措置があります。また、諏訪6市町村の職員数は、松本市に比べ約500人多くなっていますが、10年くらいかけて減員することになります。すべての部門で一律に減員しないで、事務管理部門の集約により、市民サービスに直結する部門への再配置など、より充実したサービスが可能になります。

ちなみに現在の試算では、約30～40億円の人件費が削減できます。

◆市町村合併に関する
お問い合わせは

市企画部

広域合併推進室

☎23-4811 内線1523

FAX 24-0689

Eメール

kk@city.okaya.nagano.jp

中心部だけが
よくなって、周辺部が
さびれてしまうことは
ないのですか？



都市が成熟した現在、合併した各地域がそれまでに培った特徴を伸ばすことにより、新市全体が活性化することになります。地理的な中心地だけが発展することはなく、今でも周辺部において、その地域にあった手法により発展を続けています。

合併して今の市役所が
支所になり、本所が
遠くなった場合、取り扱い
業務が縮小され不便に
なりませんか？



多くの市民の皆さんが利用する福祉、税、戸籍等の窓口業務は、IT技術の進展により各支所でサービスが継続されます。合併後は本所・支所の区別なく、新市の各役所窓口で住民票・戸籍謄本等の交付が受けられることとなります。



オーストラリアで

ゆったり滞在型余暇を！

ご利用ください

『国際交流ロングステイ事業』

（財）岡谷市国際交流協会では、オーストラリア、シドニー郊外のホーンズビーで、マンション2室を借りて海外生活を楽しむ「滞在型余暇——国際交流ロングステイ事業」を実施しています。

観光旅行でもない、永住でもない、海外生活体験を通じ見聞や国際交流を広める、それが「滞在型余暇」の基本です。長年夢だった海外での暮らしを、この機会に実現してみませんか。

★ホーンズビーはどんなところ？

ニュー・サウス・ウェールズ州ホーンズビーは、オーストラリア最大の都市シドニーから北へ約25キロの地点にあります。人口は約13万人、クーリンガイ国立公園が隣接する緑豊かな閑静な街で、滞在するには最適な場所です。

当協会では、この街の3階建2LDKマンション内に2部屋を借りています。このマンションから



徒歩約10分のところにホーンズビーの駅があり、電車でシドニー市内へ45分で行けます。また、徒歩3分のところには、現地の新鮮な食材から日本食、日用品など品揃えがとても豊富な大型スーパーマーケットがあり、生活には何の不便もなく快適に過ごせます。街の治安もよく、万が一困ったときにも現地での応援体制が整っていますので、海外が初めての方でも安心です。

★旅行と何が違うの？

通常の観光旅行、いわゆる「パッケージツアー」では、あらかじめ決められた日程に沿って観光したり、食事をしたりと、なかなか自分の時間を持つ機会が少ないのが一般的で、訪れた国の人柄・風土・慣習がなかなか理解できないまま帰国してしまいがちです。

当協会で実施している「滞在型余暇」では、その日の気分で観光するのもよし、スーパーに行って安くておいしい食材で料理するのもよいでしょう。また、当協会では中高一貫の学校で日本語教室のアシスタントができるようになっておりますので、ボランティアで過ごすのもよいでしょう。

また、現地に1週間から最大3か月まで好きな日数で滞在できますので、これも魅力の一つといえます。

★英語が話せなくても大丈夫？

英語が話せれば結構なことですが、話せなくても辞書を片手に海外に行ってみませんか。始めは誰でも不安なものです。が、身振り手振りで話せば、現地の人もきくと理解してくれるはず。この

滞在マンションの概要

施設

鉄筋コンクリート3階建 2LDK ガレージ付
3階の13号室と18号室

設備備品

【寝室等】各室2か所、ベッド数4、バス、シャワー、
トイレ、洗面所

【ダイニングキッチン】冷凍冷蔵庫等台所用品一式

【リビングルーム】テレビ、電話、ファクシミリほか

【ランドリー】洗濯機、乾燥機、掃除機ほか

【バルコニー】イス、テーブル

住居費用

1日1室約7,100円（岡谷市民）

〈電気、ガス、電話基本料含む〉

※滞在には、住居費のほかに、シドニー往復の航空券、
現地での生活費が必要です。



▲滞在先となるマンションの外観

18号室の様子



【問い合わせ・申し込み先】

(財) 岡谷市国際交流協会

(岡谷市役所 2 階)

☎ 24-3226

FAX 24-3227

E-mail: oiea-tc@mx1.avis.ne.jp

URL:

www.city.okaya.nagano.jp/oiea

当協会では、利用されるみなさんの出発前から滞在中に至るまでの不明点や疑問点などの相談に応じております。また、渡航に必要な、国際航空券・査証などの手配も行いますので、詳しくは当協会へお問い合わせください。

★サポート体制は？

ように、コミュニケーションを行うことによって、お互い一層楽しくなるでしょう。まずは、チャレンジ精神を持つところから始めましょう。

また、当協会では日本人による現地支援体制があり、緊急時などに対応しますので安心して過ごすことができます。ご希望により、当協会にて事前の英会話レッスンができますのでお問い合わせください。